



# こうきた 11月号

杉並区立高円寺北子供園

高円寺北子供園 阿波踊りの復活！

園長 須田なぎさ

先日の運動会では、たんぼぼ組もにじ組も笑顔いっぱい、今まで取り組んできた成果を保護者の方々に見て頂くことができました。感染症拡大防止対策にご理解ご協力いただき、また、アンケートにもご協力いただきありがとうございました。

たんぼぼ組のアンケートには、「みんな笑顔で素敵だった。」「楽しそうに取り組んでいた。」などの温かいお言葉をいただきました。にじ組には、楽しんですることに加えて、「係の仕事を積極的にしっかりと行っていた。」「協力し合いながら頑張っていた。」と5歳児として成長を感じられる嬉しいコメントが寄せられました。運動会の最後にみんなで踊った“阿波踊り”についても、「保護者の私たちも一緒になって踊ることができたのは何よりの喜びでした。」「全員が同じことで盛り上がる楽しさを分かち合え、とても感動的でした。」と、感想をいただきました。

コロナ禍で、高円寺阿波踊りに園児が参加する機会は、今年もありませんでした。地域の有名な踊りなので、途絶えさせることなく、続けていきたいと考え、運動会前に、地域の方々にご協力いただきました。

まずは、高円寺学園の小学部5年生に教わりに行きました。初めての交流なので、子どもたちは少し緊張していましたが、5年生が楽しいゲームを考えて用意してくれていたの、子どもたちも打ち解けて笑顔になりました。そして、阿波踊りは、全体で踊り方を教わった後、グループに分かれて、5年生の見本を見ながら踊ったり、手とり足とり教わったりしました。5年生が上手にほめてくれるので、子どもたちも楽しそうに踊っていました。短時間で親しくなり、素敵な時間でした。

さらに、杉の子連の方にも来ていただき、踊り方やコツ、掛け声のかけ方をご教授いただきました。杉の子連の方の話を聞き、しなやかで美しい動きを見本にして、繰り返すうちに、踊りながらの「ヤットサーヤットサー。」の掛け声も大きくなっていきました。「踊りは、音楽に合わせてみんなですること、仲良くなります。」とも教えてくださいました。大きな輪を作り、音に合わせてみんなで同じ動きをし、「ヤットサーヤットサー。」とみんなでかけ声をかけることで一体感が生まれました。

このように、高円寺学園の5年生、杉の子連の方に教えていただき、当日も、保護者の皆様に協力していただいて、高円寺北子供園の阿波踊りが復活しました。ありがとうございました。

杉並区教育ビジョン2022「みんなのしあわせを創る杉並の教育」の中に、一人ひとりが教育の当事者として心がける5つの視点の一つに「学びの成果を贈り合う」とあります。阿波踊り復活に向けての地域との交流で、子供園は、地域の方々から“阿波踊り”の踊り方や踊る楽しさを受け取りました。地域の方々も、一緒に踊った子どもたちの元気な姿から、「教えてよかった。」「一緒に踊って楽しかった。」と感じていただけたのではないかと考えています。これは、まさに、「学びの成果を贈り合う」の実践の場面であったと思います。さらに、子供園の子どもたちが、「阿波踊り」を踊ったことを、将来いつかどこかで思い出し、人や地域・社会とつながるきっかけとなることが、長期的に見た「学びの成果の贈り合い」になると考えます。そのためにも、今回受け取った「阿波踊り」という成果を、これからも園内で引き継いでいきます。みんなで楽しく踊った“高円寺北子供園 阿波踊り”が、子どもたちの心のどこかに残ることを願ってやみません。



## 《11月の保育》

### ★4歳児 たんぽぽ組

運動会を終え、子どもたちは繰り返しリズムの曲をかけて踊っています。また、運動会を経て、ますますにじ組への憧れの気持ちが高まったたんぽぽ組の子どもたちは、にじ組のしたりレーやバルーンのやり方を教わり、繰り返し楽しんでいきます。

寒くなってくる11月も、簡単なルールのある遊びや体操などを行い、体を動かして遊ぶ機会を大切にしていきます。

ごっこ遊びでは、「ここにレジを置くのはどう?」「食べる場所はここにしようよ!」と提案したり、友達の意見に同意したりしながら遊ぶ姿が増えてきています。友達に自分の思いを言葉にして伝えようとしていたり、友達の思いにも気付いたりできるよう援助しながら、一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。

また、子ども会に向けて役になって動いたり、簡単なやり取りをしたりする楽しさを感じられるように、表現遊びを楽しんでいきます。

### ★5歳児 にじ組

子どもたちは、運動会の経験を経て、体を動かして遊んだり、友達と力を合わせたりすることがますます楽しくなってきました。今月は、運動会で楽しんだりレーや縄跳び、マットに加えて、新しい鬼遊びやボール遊びも楽しみます。保育者からルールを示すだけでなく、みんなで遊びながら「より面白く、楽しくするには…」とルールを考えることも楽しめるようにしていきます。

また、水族館遠足を共通体験として活かしながら、表現遊びを楽しんだり、遊びに必要な物を自分たちで考え、工夫しながら作ったりします。そして、遊びの中で出てきた楽しい表現や工夫など、子どもたち一人ひとりの思いを、12月の“子ども会”につなげていきます。子ども会に向けての活動では、一人ひとりが自分の力を発揮し、友達の良さに気づき、互いに認め合いながら進められるようにしていきます。

## 薄着で元気!

肌寒くなってくると、つい子どもに厚着をさせたいくなりますが、子どもは意外と寒さに強いものです。冬に向けて抵抗力をつけ、丈夫な皮膚を作っていくためにも、今から薄着を心掛けていきましょう。

### 薄着で過ごすコツ

- ★寒いときは、薄手の上着で調節する。
- ★肌着を着て保温する。
- ★おなかと背中がでないようにする。

大人が「長そでを着よう」と思ったとき、子どもは長そでにするのを少し遅らせる。大人が重ね着をするとき、子どもは1枚少なく着せる。こうすると、自然と薄着が習慣づけられます。